

祝！アカッコ館 30 周年！毎月 30 日は入館無料

あかっこ



あかっこはインターネットでカラー版が見られます。http://www.wbsj.org/sanctuary/miyake/

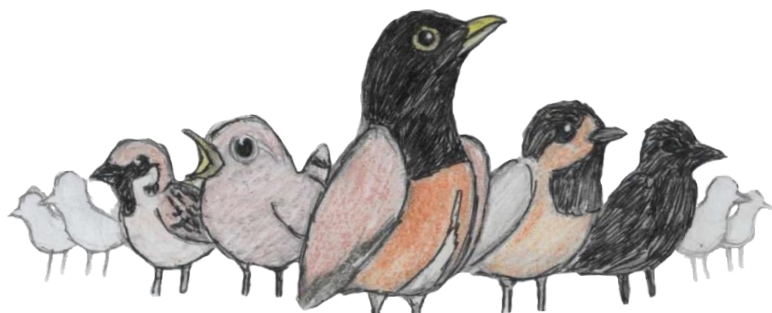
春にやってくる渡り鳥たちを観察しよう！

4月に入って、野鳥たちの声がたくさん聞こえるようになりました。この鳥たちの中には、1年中三宅島にいた鳥もいれば、島の外からやってきた鳥もいます。みなさんは「留鳥」や「渡り鳥」という言葉を聞いたことがありますか？

「留鳥（りゅうちょう）」は、1年を通して同じ場所で生活している鳥で、三宅島ではアカッコやスズメなどが当たります。反対に、季節によって生活する場所を変える鳥が「渡り鳥（わたりどり）」です。その中でも、イジママムシクイやツバメなどのように春にやってきて、夏にかけて子育てを行う鳥を「夏鳥（なつどり）」といいます。

海外などから自分の力のみで飛んでくる渡り鳥にとって、長距離の渡りには非常に多くのエネルギーを使います。そんな渡り鳥たちにとって、三宅島はエサをとったり、休んだりできる大切な場所になっています。

三宅島にはオオルリやキビタキなどのカラフルな鳥や、サギやシギの仲間などが春の渡り鳥としてやってきます。4～5月は春の渡りのピークなので、ぜひこの時期にしか観られない鳥たちを観察してみてくださいね。（文/絵 T・K）



三宅島の留鳥たち



三宅島に来る渡り鳥たち

■無料開館のお知らせ

バードアイランド三宅島にちなんで、毎月酉（鳥）の日が入館無料になります。

4月の無料開館日は9日（日）、21日（金）です。

三宅島自然ふれあいセンター・アカッコ館

2023.04 vol.313

■開館 9:00～16:30 ■休館日 月曜日（祝日の場合はその翌日）■利用料 200円（中学生以下と65才以上は無料）

■〒100-1211 東京都三宅島三宅村坪田 4188 ■TEL 04994-6-0410 ■FAX 04994-6-0458

■E-mail miyakejima@wbsj.org ■HP <http://www.wbsj.org/sanctuary/miyake/>（こちらからはカラー版をダウンロードできます。

こちらのQRコードからアカッコ館ホームページにアクセスできます→



イベント情報

大路池ガイドウォーク

レンジャーが三宅島ならではの植物や野鳥を紹介しながら、大路池のふもとまでご案内します。

- 【開催日】 4/22(土)、4/23(日)、4/29(土)、4/30(日)、
5/3(水)、5/4(木)、5/5(金)、5/6(土)、5/7(日)、5/13(土)、5/14(日)、5/20(土)
【時 間】 ①9:00～10:00 ②10:30～11:30 ※各回同じ内容
開催時間5分前にアカココ館にお越しください。
【場 所】 アカココ館集合・大路池南棧橋解散
【定 員】 6名 【対 象】 どなたでも
【料 金】 入館料として200円いただきます。

お申込み・お問い合わせ

アカココ館 TEL: 04994-6-0410 MAIL: miyakejima@wbsj.org

三宅島へようこそ！～春の渡り鳥たち～



オオルリ

オオルリの特徴はなんといっても、その美しい青色です。これはオスだけの特徴で、メスは茶色っぽい色をしています。また、ウグイスやコマドリと並んで、日本三鳴鳥と称されるほど、さえずりも美しいです。三宅島では、毎年4月や5月に大路池周辺などで観られています。



キビタキ

キビタキは眉のあたりの黄色と、喉元の美しいオレンジが特徴です。また、メスは茶色っぽく地味な色をしています。高く澄んだ美しいさえずりはオオルリと並んで、とても人気です。三宅島では、4月上旬にやってきた年もありますが、4月中旬以降から5月にかけてよく観られています。



セイタカシギ

すらっとした体とピンク色の長い脚がよく目立ちます。大きさはハト程度。三宅島には、ほぼ毎年春と秋の渡りの時期に単独でやってきます。滞在日数も短く、ほとんどが数日のうちに去っていきます。大路池のほか、海岸や畑などで見られた事もあります。

アカココ館のブログではさまざまな生き物を写真付きで紹介しています。ぜひご覧ください。 <https://miyakejima.seesaa.net/>